

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の効果検証について【令和3年度】

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	実績額(単位:円)					補助対象外経費	成果目標 (可能な限り定量的指標を設定)	地域住民への周知方法 (HP、広報紙など)	事業実績 (①件数等、②経費内訳等)	効果の検証・評価
										総事業費	財源内訳								
											国庫補助額	臨時交付金充当額	起債額	一般財源					
合計										669,330,356	-	359,051,000	-	310,279,356	-	-			
1	単	通常事業	学習支援ソフト導入事業	学校教育課	①学校休業時や持ち帰り学習にも対応する学習支援ソフトを導入する。 ②学習支援ソフト導入及び使用に要する経費 ③学習支援ソフト使用料 ・1,877千円×7か月=13,139千円 ・1026.5千円×7か月=7,188千円 計20,327千円 ④児童生徒	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	⑨教育	R3.4	R4.3	17,652,250	-	-	-	17,652,250	-	-	①全児童生徒、全教職員 ②学習支援ソフト使用料 17,652,250円	コロナ禍において、学校休業時や持ち帰り学習にも対応する学習支援ソフトを導入したことにより、R3.9月やR4.2月の学校休業時にドリルソフトを活用した宿題配信等を行うなど、児童生徒がコロナ禍でも学びを止めない体制整備が図れた。	
2	単	通常事業	小中学校学校活動感染症対策事業	学校教育課	①学校活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための各種消耗品を購入する。 ②感染拡大防止に係るアルコール消毒液等の消耗品の購入費 ③消耗品費 693,000円 ・フェイスシールド ・手指用アルコール消毒 ・電解水補助液 等 ④小中学校	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.4	R3.8	692,922	-	-	-	692,922	-	-	①市及び小中学校 ②消耗品 692,922円	コロナ禍において、学校での集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を購入し、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備が図れた。	
3	単	通常事業	子育て世帯生活応援商品券支給事業	こども課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため18歳未満の小児のいる世帯に支援金(商品券)を給付する。 ②商品券の給付に要する経費 ③給付金の給付 ・消耗品費 75,000円 ・郵便料 847,000円 ・支度金 20,000円×5,000人=100,000,000円 ④18歳未満の小児のいる世帯	①-II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	⑩商品券・旅行券	R3.6	R4.1	98,081,035	-	97,000,000	-	1,081,035	-	-	①対象児童数 4,891人 配布枚数 195,640枚 利用枚数 194,333枚 利用率 99.33% ②消耗品費:74,535円 通信運搬費:840,000円 補助金:97,166,500円	学校の休校等で支出が増加している子育て世帯へ市内で使用できる商品券を支給することで、家計の負担軽減に繋がった。 また、商品券を支給することで、消費喚起と地域経済活性化の一助となった。	
4	単	通常事業	新型コロナウイルスワクチン接種者送迎事業	健康推進課	①新型コロナウイルスワクチン接種会場への移動手段が確保できない交通弱者に対し送迎支援を行う。 ②接種対象者が接種会場までの移動に乗合タクシー及び福祉タクシーを利用した場合、その利用料金を無料又は減額するための経費※1人4回まで利用可能 ③委託料 ・乗り合いタクシー分 770人×300円×4回=924,000円 ・福祉タクシー制度分 1,540人×1,600円×4回=9,856,000円 ④高齢者ワクチン接種対象者	②-I-3. ワクチン接種体制の整備、治療薬の開発等	②いずれも該当しない	R3.4	R4.3	1,657,930	-	-	-	1,657,930	-	-	①1・2回目接種…利用者数400人 利用回数1,192回 3回目接種…利用者数288人 利用回数 519回 ②委託料1・2回目接種…1,171,460円 3回目接種…486,470円	新型コロナウイルスワクチン接種に際し、接種会場への交通手段が無い交通弱者に対し、タクシーやデマンドタクシー利用料金への助成をし、接種率向上が図られた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用が低迷していたタクシー業種に対し、接種会場への送迎を通じて事業継続への支援が図られた。	
5	単	通常事業	プレミアム付商品券発行事業	商工観光課	①新型コロナウイルスの影響により売上が減少した事業者の事業継続や個人消費の押し上げ等を図り、地域経済の回復を支援する。 ②プレミアム付商品券の販売に要する経費 ③商品券の販売 【歳入】 商品券売上金3,000円×41,000セット×2=246,000千円(購入者負担分) 雇用保険料納付金 10千円 【歳出】 事務経費 25,970千円 一般事務報酬、印刷製本費、プレミアム付商品券販売委託料等 事業者支援金 ※時間外(193千円含む) 5,000円×41,000セット×2=410,000千円 (1セット3,000円でプレミアム額2,000円、1人2セットまで購入可能) ④住民基本台帳登録者	①-III-2. 地域経済の活性化	⑩商品券・旅行券	R3.4	R4.1	424,183,819	-	176,992,000	-	247,191,819	-	-	①発行82,000冊 ②報償費 3,764,401円 期末手当 515,503円 費用弁償 136,660円 需要費 7,658,848円 役務費 304,888円 使用料 110,000円 委託料 3,292,519円 補助金 408,401,000円	過去最大のプレミアム率(66.6%)、3,000円の購入で5,000分利用できる金額で発行し、多くの幅広い市民が購入し売完となった。市内事業者の支援と市民の生活支援をすることができた。	
6	単	通常事業	学習用ICT機器活用推進事業	学校教育課	①学校休業時のタブレット端末による児童生徒とのコミュニケーションツール、持ち帰り学習ソフト等を教職員が有効活用できるよう活用実践研修を行う。 ②教職員の活用実践研修に要する経費 ③委託料 教職員研修(学習支援に伴う活用実践トレーニング×3回)737,000円 ④小中学校教職員	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	②いずれも該当しない	R3.4	R3.12	736,650	-	-	-	736,650	-	-	①教職員各校2名×15校 研修3回 ②委託料 736,650円	学校休業時のタブレット端末による児童生徒との遠隔授業等を教職員が活用できるよう活用実践研修を行ない、R3.9月及びR4.2月の学校休業時の遠隔授業に対応できた。	
7	単	通常事業	高度情報化推進事業	総務課	①WEB会議システム及び市施設間のオンラインによる情報連携に要する機器を購入し無線LAN環境を整備する。 ②WEB会議システム等無線LAN環境の整備に要する経費 ③無線LAN整備費 委託料 3,149,000円 回線接続料 1,041,000円 備品購入費 3,273,000円 ④市役所庁舎、消防本部外	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R3.6	R3.10	4,320,398	-	-	-	4,320,398	-	-	①市有施設内無線LAN(7施設) ②無線LAN整備、パソコン等備品費 4,320,398円	WEB会議を柔軟な形態で実施するため、市有施設内に無線LAN環境を整備するとともに、各施設にWEB会議用パソコン・モニター・カメラ等の機器を導入することにより、会議時における見やすい映像や聞き取りやすい音声を安定した環境で共有することが可能となった。	
8	単	通常事業	観光プロモーション事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、首都圏を中心に読者層を持つ電子情報雑誌を活用したシティープロモーションにより、知名度アップとアフターコロナの観光客誘致を図る。 ②電子情報雑誌製作に要する経費 ③委託料 18,700,000円 ④-	①-III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩商品券・旅行券	R3.6	R4.3	18,700,000	-	18,000,000	-	700,000	-	-	①電子雑誌掲載 冊子発行 20,000部 市PR動画 3本(30秒、60秒、180秒) ②委託料 18,700,000円(電子雑誌、冊子、動画製作費等)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により減少する観光客をコロナ収束後に本市に誘客することを目的に、知名度の高い俳優等をモデルとして活用し、企画内容及び動画製作、情報発信までの総合的なプロモーションを実施し、本市の認知度及び魅力度向上につながった。	

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	実績額 (単位: 円)					補助対象外経費	成果目標 (可能な限り定量的指標を設定)	地域住民への周知方法 (HP、広報紙など)	事業実績 (①件数等、②経費内訳等)	効果の検証・評価
										財源内訳									
										総事業費	国庫補助額	臨時交付金 充当額	起債額	一般財源					
9	単	通常事業	常陸大宮再発見したる旅行助成事業	商工観光課	①利用者(旅行者)を市民に限定し、市内公営・民営宿泊施設の宿泊料の助成する。あわせて利用者に飲食店、ゴルフ場、温泉施設等を利用できるクーポン券を配布することで市内で人と経済の循環を図る。 ②システム、告知、宿泊料助成等に要する経費 ③委託料 19,970,000円 ④市民	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩新たな旅行	R3.6	R3.12	15,169,000	-	15,000,000	-	169,000	-	-	①宿泊助成 1,425件 クーポン(アソボ)券利用枚数 2,850枚 ②委託料 15,169,000円(ポスター・パンフレット・クーポン(アソボ)券作成等、換金代行業務等)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により売上が激減する観光事業者(宿泊施設・飲食等)に対する支援として利用数に応じて助成金を支給するとともに、利用者(市民・在勤者限定)に対し宿泊料助成とクーポン券(アソボ)を配布するなどして観光需要を喚起し、事業者の事業継続につながった。	
10	単	通常事業	新型コロナウイルス感染症対策事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として小中学校にサーモカメラを購入する。 ②備品購入に要する経費 ③サーモカメラ体温検知器 ・小学校 11校分 11台×139,800円×1.1=1,692千円 ・中学校 4校分 4台×139,800円×1.1=616千円 ・教育支援センター 1台×139,800円×1.1=154千円 ※1台あたり139,800円 税抜き 計16台分 =2,462千円 ④小中学校	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.6	R3.9	2,460,480	-	-	-	2,460,480	-	-	①全小中学校 15台 教育支援センター 1台 ②サーモカメラ 2,460,480円	コロナ禍において、学校での集団感染のリスクを避けるため、サーモカメラを購入し、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備が図れた。	
11	単	通常事業	新型コロナウイルス感染症予防学校活動支援事業	学校教育課	①修学旅行等に使用するバスについて、感染防止対策として1台あたりの乗車人数を減らし密状態を避けるため、台数を増車する経費 ②バスの借り上げに要する経費 ③バス借り上げ料 ・小学校 10校分 52台 5,120,000円 ・中学校 4校分 51台 7,650,000円 ④小中学校	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R3.6	R3.12	5,479,606	-	-	-	5,479,606	-	-	①小学校10校、中学校3校 ②自動車借上料 5,479,606円	コロナ禍に学校で実施する遠足等の感染予防対策として、バスの借上げを増便し、3密を回避することにより、児童生徒が安心して遠足等に参加できる環境を提供し、感染することなく実施できた。	
12	単	通常事業	図書除菌機設置事業	生涯学習課	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として図書資料を殺菌する機器を購入する。 ②備品購入に要する経費 ③図書除菌機 1台 1,070,000円×1台×消費税 = 1,177,000円 ④図書情報館	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.6	R3.9	1,045,000	-	-	-	1,045,000	-	-	①図書除菌機 1台 ②1,045,000円	図書資料を借りる方や閲覧する方が、安心して快適な読書ができるよう、図書除菌機を導入したため、来館者及び自宅での読書等についても、感染拡大防止につながった。	
13	単	通常事業	新型コロナウイルス感染症対策資機材購入事業	消防本部 警防課	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策強化及び感染防止衣等の感染防止用資材の備蓄体制を整備する。 ②医療材料購入に要する経費 ③医療材料費 5,066,000円 ・コトリルティス手袋 2,800円×200箱×1.1=616,000円 ・感染防止衣上衣 110,000円×10箱×1.1=1,210,000円 ・感染防止衣下衣 100,000円×10箱×1.1=1,100,000円 ・防護服タイプベックスタイプ 120,000円×10箱×1.1=1,320,000円 ・N95マスク 12,500円×50箱×1.1=687,500円 ・サージカルマスク 600円×200箱×1.1=132,000円 ④消防本部	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.6	R3.9	5,064,950	-	-	-	5,064,950	-	-	①R3救急件数 2,004件 ②医療材料費 5,064,950円	感染症感染拡大時の資材不足に対応するため、備蓄体制として運用要綱に基づき6ヶ月間対応可能な数量を消防本部防災倉庫に整備した。	
14	単	事業者支援(②感染症対策強化)	抗原検査キット配布事業(配布分)	こども課	①民間児童福祉施設の事業者に対し、施設でのクラスター発生に伴う休業への不安やリスクを軽減するための支援として、検査体制の充実を図り、新規陽性者を早期に発見し、クラスターを未然に防ぐため、民間児童福祉施設に対し抗原検査キットを配布する。 ②抗原検査キットを購入する経費。 ③積算: 1,150個(児童数+予備)×4,500円=5,175,000円 ④市内の民間児童福祉施設 12施設 (基本的対処方針(令和3年8月17日変更)54ページ目等)	①-I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	5,098,500	-	4,879,000	-	219,500	-	-	①配布施設 私立保育所等12施設 配布数 1,150個(児童数等で変動) ②消耗品費:5,098,500円	施設でのクラスター発生による休所や保護者・職員の不安やリスクを軽減するため、事前に私立保育所等へ検査キットを配布することで、感染拡大を早期に防ぐことができた。	
15	単	事業者支援(①事業者支援)	宿泊施設事業者支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により売上げが減少した事業者の事業継続等を目的に旅館・ホテルなど宿泊施設を支援する。 ②宿泊施設の収容人数に応じて支援金を支給する経費。 ③積算: ・支援金 300,000円(20人未満)×7件=2,100,000円 700,000円(20から50人未満)×9件=6,300,000円 1,000,000円(50から100人未満)×8件=8,000,000円 ・郵送料 8,000円 ・消耗品 41,000円 ④市内宿泊施設事業者 24事業者	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	16,800,000	-	16,800,000	-	-	-	-	①24事業所 ②16,800,000円	コロナウイルス感染拡大の長期化により、以前と比較して減少した宿泊客に伴い、大幅な売上減少と事業継続に係る支援として事業規模に応じた支援金は事業者の事業継続につながった。	
16	単	事業者支援(①事業者支援)	貸切バス事業者支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により売上げが減少した事業者の事業継続等を目的に貸切・観光バス事業者を支援する。 ②市内に営業所を置く観光バス事業者への支援金の支給に伴う経費。 ③積算: ・支援金 【事業者割】500,000円×6事業者=3,000,000円 【台数割】300,000円×27台=8,100,000円 ※事業者へは、事業者割+台数割で支援 ・郵送料 3,000円 ④市内のバス会社 6事業者	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	11,700,000	-	11,700,000	-	-	-	-	①6事業所 ②11,700,000円	コロナウイルス感染拡大の長期化により、観光バス利用者の大幅な減少に伴い、事業規模に応じた支援金は事業者の売上補填及び事業継続につながった。	

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業初期	事業終期	実績額 (単位:円)					補助対象外経費	成果目標 (可能な限り定量的指標を設定)	地域住民への周知方法 (HP、広報紙など)	事業実績 (①件数等、②経費内訳等)	効果の検証・評価
										財源内訳									
										総事業費	国庫補助額	臨時交付金充当額	起債額	一般財源					
17	単	事業者支援(①事業者支援)	タクシー事業者支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により売り上げが減少した事業者の事業継続等を目的にタクシー事業者を支援する。 ②市内に営業所を置くタクシー事業者への支援金の支給経費。 ③積算: ・支援金 50,000円×23台=1,150,000円 ・郵便料 2,000円 ④市内のタクシー事業者 4事業者	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	950,000	-	-	-	950,000	-	-	①4事業所 ②950,000円	新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、引き続き減少しているタクシー利用者に伴う支援として、一律の支援金は事業者の売上補填及び事業継続につながった。	
18	単	事業者支援(①事業者支援)	酒類卸売り事業者等支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、酒類提供の停止を要請されていることから、売上減少が見込まれる酒造業、酒類卸売り事業者に対し、事業継続等を目的に支援金を支給し支援する。 ②市内酒造業者及び卸売事業者への支援金の支給に伴う経費。 ③積算: 【酒造業】2,000,000円×1事業者=2,000,000円 【卸売】200,000円×20事業者=4,000,000円 ・郵送料 8,000円 事業者へは、事業者割+台数割で支援 ④市内酒造業者 1事業者 市内酒類卸売り事業者 20事業者	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	3,600,000	-	3,000,000	-	600,000	-	-	①9事業所 ②3,600,000円	新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う、まん延防止等により飲食店が休業や時短要請に応じた影響により大幅な売上減少に伴う酒造業、酒類卸売り事業者の支援として、事業者一律の支援金は事業者の売上補填及び事業継続につながった。	
19	単	事業者支援(①事業者支援)	自動車運転代行事業者支援事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う酒類提供の停止等の影響により、自動車運転代行の利用が落ち込み、売上減少が見込まれる自動車運転代行業者に対し、事業継続等を目的に支援金を支給し支援する。 ②市内に事業所を置く自動車運転代行業者への支援金の支給に伴う経費。 ③積算: ・支援金 【事業者割】400,000円×7事業者=2,800,000円 【台数割】200,000円×21台=4,200,000円 ※事業者へは、事業者割+台数割で支援 ・郵送料 3,000円 ④市内の自動車運転代行業者 7事業者	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	4,400,000	-	4,000,000	-	400,000	-	-	①6事業所 ②4,400,000円	新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う、まん延防止等により飲食店等での酒類提供の停止等の影響を受け、自動車運転代行の利用が落ち込んだ事に対する支援として、事業者の規模に応じた支援金は売上補填や事業継続につながった。	
20	単	通常事業	成人式に係る抗原検査キット購入	生涯学習課	①成人式における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として、新成人に対して新型コロナウイルスの抗原検査キットを配布する。 ②抗原検査キットの配付に係る経費 ③抗原検査キット 3,870円×500個×1.1=2,128,500円 郵便料 ・140円×420通=58,800円 ・510円×100通=51,000円 ④新成人	①-Ⅰ-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	②いずれも該当しない	R3.12	R4.1	2,151,180	-	-	-	2,151,180	-	対象者への検査キット配付率100% 市HP、広報紙等で周知	①参加者 ②抗原検査キット 2,062,500円 郵便料88,680円	新型コロナウイルス感染症対策として、検査キットを配布することにより、県内外から出席する成人者に対し、感染に対する不安解消と積極的な成人者の出席につなげることが出来た。	
21	単	通常事業	修学旅行キャンセル料等支援事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、修学旅行等を中止したことに伴い発生するキャンセル料等の経費について、市が支援することで保護者の経済的な負担軽減を図る。 ②宿泊学習のキャンセル料等の経費 ③宿泊学習の中止に伴うキャンセル料 ・大宮中 11,819,726円×40%=4,727,890円 ・第二中 5,819,424円×40%=2,327,770円 ・山方中 3,246,426円×40%=1,298,570円 ・明峰中 5,696,090円×40%=2,278,436円 ④市内中学校 4校	③-Ⅰ-5. 生活・暮らしへの支援	②いずれも該当しない	R4.3	R4.3	568,686	-	-	-	568,686	-	保護者の負担軽減 市HP、広報紙等で周知	①中学校3校 ②修学旅行キャンセル料等補助金 568,686円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、修学旅行先を変更等したことに伴い発生したキャンセル料等への補助を行い、保護者の経済的な負担軽減が図れた。	
22	単	通常事業	抗原検査キット配布事業(備蓄分)	こども課	①新規陽性者を早期に発見し、児童福祉施設でのクラスター発生を未然に防ぐため、抗原検査キットを購入し検査体制の充実を図る。 ②備蓄する抗原検査キット購入経費 ③積算: 500個×4,500円=2,250,000円 ④市 (基本的対処方針(令和4年1月7日変更)20ページ目等)	①-Ⅰ-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	②いずれも該当しない	R3.9	R3.12	2,245,650	-	-	-	2,245,650	-	検査キットの調達 市HP、広報紙等で周知	①備蓄数500個-使用数500個=0個 使用施設: 公立・私立保育所、公立・私立学童クラブ ②消耗品費: 2,245,650円	公立保育所や放課後児童クラブで、検査キットを活用することで新規陽性者を早期に発見し、クラスターを未然に防ぐことができた。罹患者が増加し、県の検査体制が目詰まりを起こした際には、備蓄した検査キットを活用してクラスターを防ぎ、保護者の施設利用の安心感に繋がった。	
23	単	通常事業	保育従事者等応援事業	こども課	①新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高い中、事業継続に尽力している保育従事者に対し、商品券を支給し支援を行う。 ②商品券及び商品券製作、発送の経費 ③積算: ・印刷製本費(商品券3,000冊) 930,000円 ・郵便料 84円×500通= 42,000円 ・私立保育園等 @30,000円×312人=9,360,000円 ・私立学童クラブ @30,000円×33人= 990,000円 ※合計345人分 ④保育従事者	①-Ⅱ-1. 雇用の維持	②いずれも該当しない	R3.9	R4.1	10,520,000	-	-	-	10,520,000	-	商品券利用率100% 市HP、広報紙等で周知	①対象施設: 私立保育所等13施設 私立学童クラブ6施設 対象職員数: 325人 利用率 99.2% ②印刷製本費: 847,000円 補助金: 9,673,000円	感染リスクが高い児童福祉施設に勤務する保育士等に対し、商品券と市長メッセージを届け、子どもたちが安心して過ごせるよう引き続き感染対策をお願いした。後日、受け取った保育士等から感謝の言葉があった。	
24	単	通常事業	学校活動支援ICT端末機器整備事業	学校教育課	①臨時休校等に伴うリモート学習に対応するため、学校側で教師が使う機器類を小中学校全校に整備するとともに、児童・生徒用タブレットの破損防止のため、タブレット用キャリアバッグを購入する。 ②オンライン授業等に対応する備品、消耗品購入経費 ③積算: 備品、消耗品購入経費 ・ウェブカメラ 71,280円×108台=7,698,240円 ・スピーカーマイク 63,690円×108台=6,878,520円 ・タブレットキャリアバッグ 2,024円×2,510個=5,080,240円 ④小中学校	①-Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	②いずれも該当しない	R3.9	R4.3	16,052,300	-	11,680,000	-	4,372,300	-	備品等の調達 市HP、広報紙等で周知	①全小中学校 タブレット用キャリアバッグ 2,510個 ウェブカメラ 108台 スピーカーマイク 108台 ②タブレット用キャリアバッグ4,362,380円 ウェブカメラ 6,153,840円 スピーカーマイク 5,536,080円	コロナ禍において、臨時休校等に伴うリモート学習に対応するため、学校側で教師が使う機器類を小中学校全校に整備したことにより、全教室でリモート学習等に対応できる環境の整備が図れた。また、コロナ禍で臨時休業や持ち帰り学習が増えたため、タブレット用キャリアバッグを購入し、児童・生徒用タブレットの破損の未然防止を図った。	